

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）7月30日】

1 熊本県における現状認識

全国的に、著しく感染が拡大している。東京都では、過去最高の感染者が確認されており、さらに増加が見られている。日本各地の大都市においてもデルタ株の影響により、これまでにない速度で感染者の増加が見られており、国は緊急事態宣言措置区域を6都府県に拡大し、まん延防止等重点措置区域を5道府県に拡大する方針である。

本県において、7月23日から29日までの新規感染者は306人、病床使用率は22.6%(速報値)となり、国の主なステージ3基準を上回った。著しい感染者数の増加が見られていることから、本県の感染状況は国のステージ3（レベル5 厳戒警報）にあると判断する。

7月28日の本県の対策本部会議で示したロードマップに則り、「熊本蔓延防止宣言」としての対策を開始する。また、現在の感染拡大の勢いが著しいことから、「まん延防止等重点措置」の適用を、国に要請する方向で調整に入る。

多くの専門家が指摘する通り、デルタ株の感染性は非常に高く、今後、これまでに経験したことがない感染拡大が起こる可能性がある。そのため、県全域への不要不急の外出自粛要請を行うほか、飲食店への時短営業要請の範囲を拡大するなど、全般的に対策を強化する。

県民の皆様には、県からの要請に応じていただくようお願いする。また、基本的な感染防止対策をより徹底していただき、特に普段一緒にいない人との交流は感染リスクを増すことを念頭に、十分注意していただくようお願いする。

前回（7/28発表）	今回（7/30発表）
レベル5 厳戒警報 なお、感染状況は増加傾向が見られる。	国分科会ステージ3（レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は増加傾向が見られる。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント（7月30日現在）

- 7月23日から29日までの新規感染者は306人であり、病床使用率も急増している状況から、現状は国ステージ3にあると判断することが妥当である。
- 現状のデルタ株による全国的な感染拡大の抑え込みは、世界の状況を見ると、国内においても大きな課題となる可能性がある。他国では、強力なロックダウン政策とワクチン接種により対策を進めており、今後、そのようなこれまでにない行動制限が必要とされる状況も現実味を帯びてきている。
- 熊本県の現状では、これまでの国内対策での抑え込みは可能な状況にあると考えられるため、県民の皆様におかれては、自らの健康と生命を守るためにも県からの要請を遵守していただくようお願いする。
- 県・熊本市においては、こうした対策の必要性を説明し、今後も必要に応じた強化を図っていただくようお願いする。

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合	新規陽性者数の前週今週比
	入院医療		重症者用病床		県内全検査			
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均	週合計	直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階							
7月28日	15.9%	45.9%	0.0%	205人	5.1%	234人	83人(35.5%)	4.50
7月21日	6.0%	72.9%	0.0%	48人	1.6%	52人	18人(34.6%)	4.33
7月14日	3.6%	81.5%	1.8%	27人	0.4%	12人	6人(50.0%)	1.33
7月7日	3.5%	65.6%	1.8%	32人	0.3%	9人	5人(55.6%)	0.36
6月30日	8.1%	79.0%	8.9%	62人	0.6%	25人	5人(20.0%)	0.69
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	0.9%	36人	13人(36.1%)	0.88
6月16日	15.4%	80.5%	16.1%	113人	1.0%	41人	18人(43.9%)	0.58

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

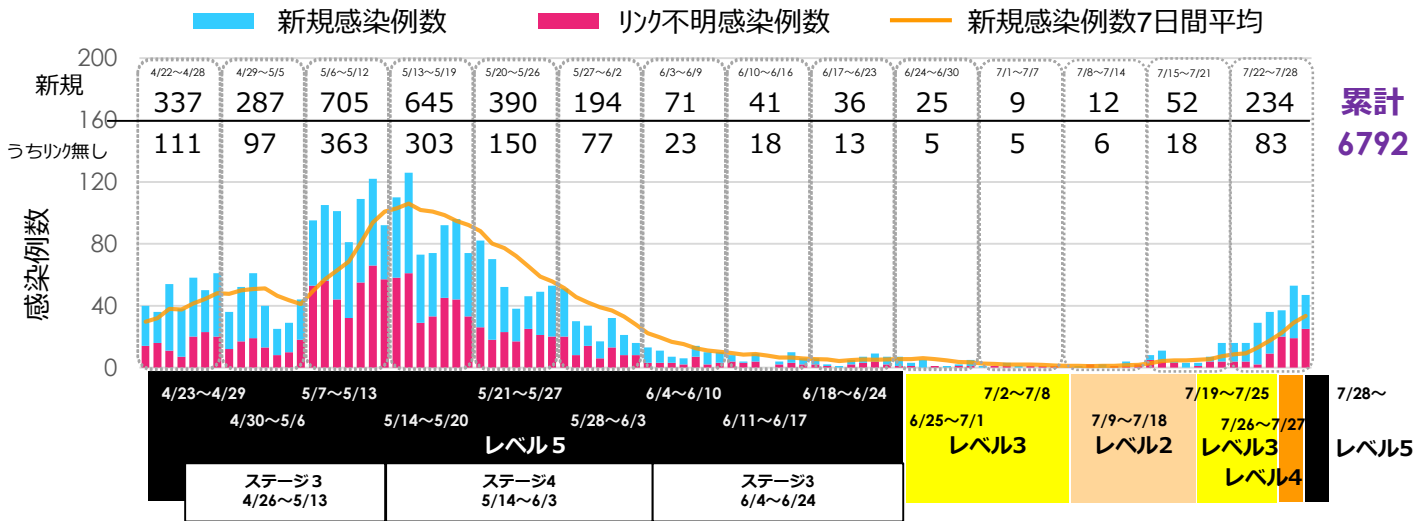
※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（4/22～7/28）：確定日ベース】



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	7/22～7/28		保健所名	これまで	7/22～7/28	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	3722	109	14.8	宇城保健所	251	17	16.4
有明保健所	630	71	45.6	八代保健所	314	9	6.6
山鹿保健所	216	6	12.0	水俣保健所	154	0	0.0
菊池保健所	570	17	9.2	人吉保健所	148	0	0.0
阿蘇保健所	131	0	0.0	天草保健所	76	1	0.9
御船保健所	346	4	4.9	計	6558	234	13.4

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用